

保育園の自己評価について (令和4年度)

保育園においては、保育課程を踏まえ、それぞれの指導計画や食育の計画等に基づく保育士等による保育実践の振り返りを重視するとともに、保育の内容等の自己評価及び公表を努力義務としています。保育園での自己評価を踏まえ、理念や目標について、共通理解を深め、職員の資質の向上及び職員全体の専門性の向上を図るとともに、保育内容の充実や、保育の特性を生かした質の高い保育実践に努め、社会的責任を果たしていかなければいけないと思っています。

当園では、保育士は自己評価チェックリストを元に評価し、園長は保育園としての自己評価をもとに、振り返りを行うことにより、保育実践・内容等の課題を見つけ、改善の方向を探り、質的に向上させるとともに、今後、さらに豊かな保育を展開していくために活用することを目的とし、子どもの幸せに寄与できるように努めます。

1 評価対象者 保育士10名 子育て支援員 1名

チェック項目	評価結果(%)
1.教育及び保育の基本と目標を理解し、日々の保育を行っている。	87.7
2.教育及び保育にあたり、子ども達が安心できるよう配慮を行っている。	89.5
3.子ども達の健康に配慮し、適切な支援を行っている。	86.3
4.食育への配慮を行い、食育への興味を高める工夫をしている。	85.2
5.特別支援教育や障がい児保育について理解し、保育を行っている。	61.5
6.ねらい及び内容の健康の項目について理解し、保育を行っている。	93.5
7.ねらい及び内容の人間関係の項目について理解し、保育を行っている。	91.5
8.ねらい及び内容の環境の項目について理解し、保育を行っている。	90.3
9.ねらい及び内容の言葉の項目について理解し、保育を行っている。	89.1
10.ねらい及び内容の表現の項目について理解し、保育を行っている。	88.2
11低年齢児の特徴を捉え、適切な保育実践の為の配慮を行っている。	87
12.指導計画の作成にあたって配慮すべき事項を捉え、日々改善している。	86.6
13.自己の倫理観や保育の質の向上の為、園内外での研修に積極的に参加している。	85.5
14.保育士間で話し合う機会を持ち、共通理解のもと、皆が同じ様に保育に参加している	85
15.室内の衛生、クラス廻りの清掃を心掛け、気持ち良い環境づくりを心掛けている	92.5
16.地域交流に力を注ぎ、子育て支援を行っている。	85
<b>平均</b>	<b>86.5</b>

令和4年度 大庭あにまる保育園

## 令和4年度 保育所における自己点検・自己評価

今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせるように努めております。

A: たいへんよい(100)
B: よい(80)
C: 一部検討を要する(50)
D: 改善を要する(30)

### ◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				保育理念、方針、目標を掲げ子どもの健やかな育ちを圖って計画を立てている。 全職員の共通理解が図れるよう保育環境や目標を職員会でも確認できるように努める。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	○				
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○	○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				子ども一人一人の主体性を大切にし、発達過程や個人差を尊重しながら保育の取り組みの実施に努めた。 今後も継続して取り組む。 発達に合わせた玩具選びも行なっていた。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	○				現行のままで適切である。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			コロナ禍の為、引き続き感染対策に努めながらではあったが行事の内容を縮小したかたが今年度は予定通り開催していくことができた。行事の反省や保護者の声を来年度に活かしていけるようにする。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	(1)能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			職務内容は明確になっており、それぞれの役割に努め、連携がとれる体制となっている。職員配置は十分である。
		(2)職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3)職員の配置は適材・適所か。	○				
		(4)係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運営	(1)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			担任会議を行うことによって全員が共通理解のもと、子ども達一人一人への対応を共通化することができた。
		(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○				
		(3)打合せ回数、時間、内容は適切か。	○				
	年齢別・クラス経営	(1)年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				・保育指針のねらい及び内容が達成できるような保育計画を立てている。 ・年間、月、週、日案等が実際の子ども姿に合ったものになっているかを更に充実させていきたい。
		(2)年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		(3)年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				
		(4)同年齢及び異年齢児間の効率的な活動の充実を図っているか。		○			
		(5)意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○			
		(6)評価、資料（諸記録）を集積しているか。	○				
	保健・安全指導	(1)年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○				・園だよりで伝えている。 ・避難訓練（火災、地震、消火、通報）（不審者）を行うことで防災意識を持って行動できる。 ・防犯訓練のみの実施月が1回あった為、通常の避難訓練は毎月行うように努める
		(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。			○		
		(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
(4)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○					
研究・研修	所内研究・研修	(1)研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○			・子どものより良い発達のため研修会の報告を取り入れ、一人ひとりの保育の質の向上に努めていく ・保育の状況も新しい考え方へと変化している。共通理解をもつため研修を充実させる
		(2)所内研修の計画・運営は適切か。	○				
		(3)研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○				
		(4)研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○			
	所外研究・研修	(1)各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○				計画的に研修会に参加し、知識や技能の向上に努めている。園内に還元できるように園内研修を実施していく。
		(2)各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○			

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報に適正に取り扱っているか。	○				・個人情報の管理は適切に行っている。入園児にHP等への写真掲載について同意書をとっている。	
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				・安全点検は毎日実施している。	
	(2)道具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○				・倉庫等整理を定期的に行い、使いやすいよう工夫している。	
	(3)不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。	○					
	(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○			・掲示は保護者の目につく場所に設けて活用している。	
出納・経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				適切に処理している	
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○			感染防止に努めながら同ビル内の企業主導型保育園とも連携し、交流行事を取り入れることができた。子ども同士が関わる時間があまり取れなかったが、行事は楽しむことができた。来年度も計画していきたい。
		(2)他施設等の幼児たちと触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
		(3)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
	家庭・地域社会との連携	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○		コロナ禍で保護者以外を対象とした行事の設定はしなかったが、感染防止に努めながら保育参観は予定通り縮小開催で実施することができた。地域の図書館の読み聞かせ会などにも参加していきたい。
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
		(3)(乳) 幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれた保育所づくり	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。		○			努力不足の為、課題はあるが、園児学の際には育児相談にのったり、公園では地域の方と挨拶したりしながら交流を図るようにしている。  ・個人面談を実施し、気軽に相談できる場を設定している。 ・気になる子の対応としては、子ども家庭課の巡回指導等を受けていく方針。
		(2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。		○			
		(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	○				
		(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	情報の発信	(1) 保育園だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				施設の情報は園だより、掲示板、HP等で発信している。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	○				
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。					第三者評価は行っていない。
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			反映できるよう、努力している。